（4）酸素ボンベの交換

酸素残量計の針が“赤”の位置にきたら酸素ボンベを交換して下さい。

1 酸素ボンベの元栓を右に回して
しっかり閉めて下さい。

2 酸素供給モードを「連続」にして、
チューブ内の酸素を抜きます。

3 酸素残量表示計の針が“ゼロ”に
なっていることを確認して下さい。

4 取付けハンドルを左に回し呼吸
同調器を酸素ボンベよりはずして
下さい。

5 新しい酸素ボンベに呼吸同調器を付け替えます。
カニューラはつけたままで構いません。

確認 必ず本体にパッキンがついている事を
確認して下さい。

© 2010 Philips Respironics GK　PN 1056219　100302 R1-W

携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡下さい。お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関名・取扱業者名などを必ずお伝え下さい。

製造販売業者
ダイキン工業株式会社

販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
〒101-0048　東京都千代田区神田司町2-6
マーケティング部　03-5209-8322
www.philips-respironics.jp

■かかりつけ医療機関名

■酸素のご注文先

■機器のトラブルは…24時間対応、安心の技術サポート
平日9:00~18:00 地域営業所・出張所・駐在

夜間・土休日受付 営業所・出張所・駐在の対応日・対応時間外 受付
機器安全センター **0120-633-881**

携帯用酸素ボンベ／呼吸同調器の使い方
（ライトテックDS20B）

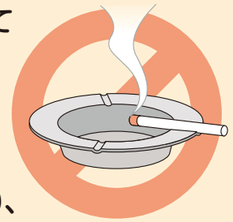
※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧下さい。

酸素はおくすり！医師の処方量を必ず守りましょう。

酸素をきちんと吸うことで心臓の他、あなたの臓器が、守られます。酸素はおくすりと同じで、体に必要な量をおぎなう為に処方されています。しかし「息切れ」は必ずしも酸素不足だけが原因で起こるものではありません。
「息切れ」が強いからといって勝手に酸素流量を変えてはいけません。

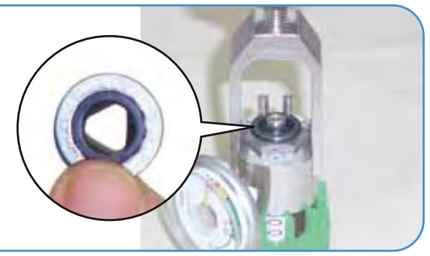
⚠ 火気からは2m以上離れてご使用下さい。

酸素自体が爆発したり、燃えたりはしませんが、燃えているものをさらに燃えやすくする性質があります。
とくに、たばこは厳禁!
酸素吸入しながらたばこを吸うことは、健康面からも絶対にやめましょう。カニューラに引火することもあり、大変危険です。

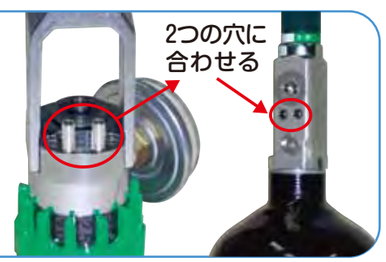


（1）吸入の準備

1 呼吸同調器にパッキンがついている
ことを確認します。



2 呼吸同調器の位置合わせピンと酸素
ボンベの位置合わせ穴を合わせる
ようにセットします。



3 取付けハンドルを右に回し、しっかり
と閉めます。
カニューラをカニューラ接続口に
とりつけて下さい。

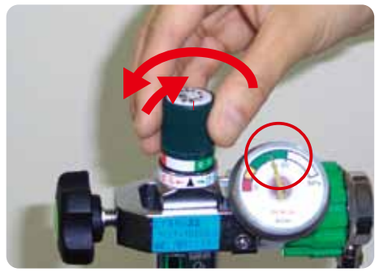
(2) 吸入の開始

1 流量設定ダイアルの目盛りが“ゼロ”になっていることを確認して下さい。

確認 酸素漏れがある場合は元栓を閉め「吸入の準備」からやり直して下さい。

2 酸素ボンベの元栓をゆっくり左に回して全開にし、少し戻して下さい。
酸素残量表示計の針が“緑”に上がります。

確認 残量を確認して下さい。針が赤の位置の場合は酸素ボンベを交換して下さい。



3 流量設定ダイアルを処方された流量に合わせて下さい。

4 酸素供給モードを「同調」にし、電源スイッチを“ピッ”と音がするまで押して下さい。

確認 電源が入ると電源表示灯が点灯します。

5 カニューラより吸入して下さい。

確認 吸気に合わせて吸気確認表示灯が点灯します。

(3) 吸入の終了

1 酸素ボンベの元栓を右に回して閉めて下さい。

2 電源スイッチを“ピッ”と音がするまで押し、電源をきります。
酸素供給モードを「連続」にしてチューブ内の酸素を抜きます。
カニューラを外して下さい。

3 酸素残量表示計の針が“ゼロ”になったことを確認して下さい。
流量設定ダイアルの目盛りを“ゼロ”に戻して下さい。

各部の名称